



国際会長主題 「より良い明日のために今日を築こう」 (Building today for a better tomorrow) Jennifer Jones (オーストラリア)

アジア太平洋地域会長主題 「アクション」 (Action) 田中 博之 (日本)
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」 山田 敏明 (十勝)
 東新部部長主題 「心を尽くして、YMCAのために」 小川 圭一 (東京世田谷)
 クラブ会長主題 「クラブライフを楽しもう」 朝倉 正昭 (東京世田谷)
 Enjoy your club-life!

会長 朝倉 正昭
 副会長 松井 直樹
 書記 松井 直樹

2020年1月会報

強調テーマ

* I B C / D B C *

国際・国内 兄弟クラブ

会計 小原 武夫
 直前会長 寺門 文雄
 担当主事 池田麻梨子

↑今月の聖句

『信仰とは、望んでいる事柄を確信し
 見えない事実を確認することです』

ヘブライ 11:1-10

(峰 毅 選)

- 司会 小川 圭一 君
1. 開会点鐘 朝倉 正昭会長
 2. ワイズソングと信条 一同
 3. ゲストとビジター紹介 朝倉 正昭会長
 4. 今月の聖句朗読
 食前の祈り 峰 毅 君
 5. 会食
 6. 卓話 中村 哲氏 草の根の人々と共に生きる平和
 日本YMCA同盟 (元JOCs総主事) 大江 浩 氏
 7. ハッピーバースデー 1月8日 小原詔子さん
 結婚記念日 なし
 8. ニコニコ献金
 9. 諸報告
 10. 閉会点鐘 朝倉 正昭会長

※ 1月例会プログラム

とき 令和2年1月17日 18:30~20:30
 ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
 電話 03-3420-5361

12月のデータ	会員在籍 11名	例会出席者 12/20日(金)	12月のBF	ニコニコファンド
	出席率 90%	会員 10名	切手 0g	12月 2,200円
第2例会 12/19日(木) (7名出席)	メネット 0名	現金 円	累計切手 0g	年度計 34,724円
岩崎、小川、小原、川嶋、 寺門、松井、村野、 (太田ビジター)	メイキャップ 0名	合計 20名		オークション: 21,500円
	ゲスト 2名	すずらん会参加者 12/19日(木)	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2019年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会 (JOCs) に年会費10,000円を納入し継続しま した。	注: JOCs 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティーコンサート ではかねてよりJOCsへの応援を行って いる。 使用済み切手とワンコインの 献金など。
	ビジター 8名	ゲスト 36名		
	合計 48名	スタッフ 12名		
		合計 48名		

※ 本日のメインプログラム

2019年暮れ、クリスマスを待つアドベントの重大事は、中村哲さんが銃で撃たれた事でした。アフガニスタンで土木工事に命を懸けるお医者様が志半ばで亡くなったのです。私は、資金集めの講演会にも伺って応援していましたので大きなショックを覚えました。そして、中村哲さんのなさってきたことやお人柄が、あちこちで語られています。世田谷ワイズやすずらん会でも支援しているJOCSとも深い関係がありました。そこで、元JOCS総主事の大江浩さんに、YMCAを含めた中村哲さんの信仰と行動の証言をお話していただきます。ワイズやすずらん会などでも、その意味を受け止め語り続けたいと思います。(小川 記)

※ 12月例会報告



12月20日、恒例のクリスマス例会。下北沢すずらん会でお世話になる東京都民教会の岡崎岳牧師にクリスマス

礼拝をお願いし、「最初のクリスマス」と題し新約聖書ルカによる福音書・第2章10-11節から、救い主誕生にいたる説教をいただきました。人口調査の勅命で出身地での登録が求められ、ヨセフとマリアはベツレヘムへ、町は登録の為多くの人々で彼らの泊まる場所もなく家畜小屋でマリアは初めての子を出産、その子を飼い葉桶に寝かせて、暗く寂しいクリスマスを迎えたということです。

この新約聖書は西暦70年ごろに記されたということで、ふと古事記や日本書紀の記述を思い出しておりました。ごめんなさい。



さて第二部は美味しいクリスマス料理を頂きながらの祝会に。池田麻梨子担当主事から卒業論文、修士論文での要約・讃美歌研究序論を伺い、小川、寺門会員と片岡、武藤すずらん会ピアニストによる混声合唱による讃美歌特集を。

オークションでは珍値段続出で結果21,500円の収益に、楽しく有意義なクリスマス例会はお開きに。



(小原 記)

※ 第2例会(12月19日)打ち合わせ事項

- 1 1月ブリテンについて：原稿締め切り日と印刷日
締め切り日：12月30日(月)まで
印刷日：1月7日(火)16:00～

2 報告事項：

後期半年報提出(1月1日現在、1月10日までに)
現在の実数 11名

張替さんの休会届の日付は、10月31日付に
後期公式訪問 2月から各クラブの第2例会に
希望ヶ丘保育園「ねがい」の件。友の会と共に
その他について

台風19号・15号被災地支援の件

埼玉ワイズのクリスマス会に参加して

*1月プログラム

司会 小川 圭一 君

中村哲さんについてのお話しを聞く

3 協議事項

1月11日(土) 13:30～(受付)

在京ワイズ合同新年会の件

映画 岡留幸助物語「大地の歌」

個人参加 事前に5,000円を振込むこと

① 2月1日(土) 13:00～

東日本区シンポジウムの件

東京YMCA 社会体育・保育専門学校2F 演習室

② 2月15日(土) 13:00～16:00

東新部フレッシュワイズセミナー 山手センター

③ 3月19日(木)、18:45～

東京西クラブとの合同例会

- ④ 4月18日(土) 13:30～ 集合 12:00
第3回評議会 山手センター
- ⑤ 寺門文雄ワイズからの今後の組織体制の在り方について
9月以降の東新部の運営を含めての実行可能な組織体制づくりについて
友の会を正式に発足させた件。候補者選び

朝倉会長のレジメをたたき台にアクションプログラムの作成と年間スケジュール表の作成
- ⑥ その他
被災地支援について

12/12・化成肥料追肥・落ち葉を集め清掃し、深い穴掘りに苦勞しながら次年度の為に腐葉土造りに小原君大奮闘。(小原君・川嶋さん・片岡浩子さん/友の会寺門)

(二) <友の会活動参加者>

- * 参加者数・12/31 現在
男性 6名 女性7名 計13名
- * 各月 世田谷クラブ ブリテン送付
- * 奉仕活動参加者 【ねがい】ガーデニング2名参加
すずらん会クリスマス5名参加
12月例会クリスマス祝会 5名参加

✧ 希望が丘保育園

【ねがい】ガーデニング活動報告 他

昨年7月開園した保育園【ねがい】は、年途中開園によりまだ定員の半数程の園児達ですが、愛情豊かな先生方の保育によりすくすくと成長する姿の中で、球根や花の植え付けが出来たことを感謝しています。 昨年の世田谷ワイズの奉仕活動の記録を残し今後の奉仕に役立てられれば幸いです。



(三) <すずらん会クリスマス祝会>

12月 歌の後
ビンゴゲームを
楽しむ
今回初めてプレ
ゼント進呈
全会出席者3名
1回欠席者7名
以上



(寺門 記)

✧ 埼玉ワイズメンズクラブに参加して



「埼玉ワイズメンズクラブ」(会長:上松寛茂氏)の心のふるさとの歌声集会・クリスマス会に、12月13日(金)、参加させて頂いたので、以下御報告します。

浦和駅から降りてから、伊勢丹の横の古美術商や手工芸店の多い古くておしゃれな商店街の一本道を下って行くと、埼玉県庁の直ぐ傍にあるのがワイズメンのメンバーの小峰さんの持つ小峰ビルがありました。

その1階には、老舗の洋食レストランがあり、そこで美味しいハンバーグ定食を食べてから(ここで毎回打ち上げしているそうです)、直ぐ隣の会場へ行きました。

メンバーは既に30人程度集まっており、我が世田谷からも張替さん(このご近所のお生まれです)と史奈子さんも参加されておりました。

- (一) 【ねがい】秋植え球根・冬越し草花 植え付け
- 6/29・開園準備の為にペコニア植え付け(小原君)
- 7/1・開園式
- 8/・ビオトープ(小さな池)へメダカ放流(小原君より贈呈、卵から生育したもの)
- 9/23・植栽道具 ・プランター大4個購入(小原君・園職員・寺門)
- 10/10・土・堆肥・花(ガーデンシクラメン・パンジー等)購入(小原君・寺門)
- 10/23 小原君知人の練馬花栽培園見学(小原君・寺門)
- 10/24・新潟花卉球根協組・球根購入(寺門)
- 10/28・球根花植え付(朝倉会長・川嶋さん・山田悦子さん/友の会・松井君・寺門・鶴さん)
- 10/30・葉ボタン・パンジー・ビオラ等練馬花栽培園より仕入・植え付け(小原君)

冒頭にくじ引きで席順が決まり、私の席は偶然にも歌の会の伴奏者の大村ワイズ（芸大出身）の隣になり様々なことを教えて頂きました（この点も毎回席順が決まっている現在の手法がよいのか要検討課題です）。

司会者の衣笠ワイズの名指導の下、動画を使って、過去の歌の会の歴史を振り返るといった内容です。そしてその中の歌詞と合わせて、皆で歌を一緒に歌うという構成です（劇中劇というような内容です）。また埼玉ワイズのメンバーは旅行好きの方々が多く、旅行先での歌の会の映像も思い出作りに役に立っていました。

その後、以前に国連の難民の支援のスタッフとして働いていた浅羽ワイズが、昨年末にアフガニスタンで亡くなった中村哲さんについて、私たちの知らない一面について教えて頂きました。また彼は今度、新しく歌の会を埼玉で立ち上げるそうで、その点にも中村哲さんからの影響を受けていると言っていました。

なお、上松寛茂会長は、私の大学の青山学院の関田寛雄・名誉教授のOB会の先輩でもあり、今後ともよき交流を続けていきたいと思いました。

※ キャロリング イン シモキタ 6年目

YMCA すずらん会が呼びかけ。0422クリスマスを下敷きに、下北沢の地で、キャロリングをスタートして6年が過ぎました。



教会歴のクリスマス直前4週間をアドベント（待降節）といいますが、この期

間の土曜日午後、下北沢駅前のスクエア＝広場で、クリスマスの讃美歌をうたい、「クリスマスには教会へ」とチラシを配布します。ここ、3年の目玉企画は「きよしこの夜」を日本語、英語とハングルで歌う事です。

YMCAが願い実践する、愛と平和を作る運動が、これからも継続できますように。

（小川 記）

* 今後の卓話予定

これからの活動の方針について
池田麻梨子担当主事 フロストバレー報告
（ティム・クックさん）いずれ

* 今後のスケジュール

- 12月21日（土）下北沢駅前クリスマスキャロリング
- 1月10日（金）下北沢 すずらん会（都民教会）
- 1月11日（土）在京ワイズ合同新年会
- 1月15日（水）三茶 ボラセン
- 1月17日（金）第1例会 南センター
- 1月23日（木）すずらん歌の会・第2例会 緑ヶ丘教会

※ YMCA NEWS

12月12日、台風19号で甚大な被害を受けた長野市豊野地区に、中期的な支援拠点となるスペース「まちの縁側ぬくぬく亭」が開設され、菅谷淳総主事と中里敦会員・コミュニティ事業部統括が出席した。同スペースは広く地域住民に開放され、社会福祉法人賛育会ほか豊野地区で支援活動を行ってきた自治会やNPOなど12団体が協働して運営を担うが、東京YMCAもその一員として今後、各種の交流プログラムの提供を行っていく予定。

★各コミュニティセンターのバザーや秋まつりが、多くのボランティアやユースリーダー、地域の方達の協力により開催された。

- 10月27日・山手センター「YMCA山手のまつり」
益金：約50万円
- 10月20日・南センター「チャリティーバザー」
益金：約20万円
- 11月4日・西東京センター「YMCA秋まつり」
益金：約3万円
- 11月10日・江東センター「江東YMCAバザー」
益金：約134万円
- 12月15日・21東陽町センター「クリスマスオープンハウス」
益金：約100万円

★今後の主な行事日程

- 1月23日・新春特別午餐会（学士会館）
卓話者：金田喜稔氏
（一般社団法人日本サッカー名蹴会会長）
- 1月24日・台風被災地支援（賛育会豊野事業所支援）
チャリティーコンサート
出演：飯靖子氏・飯頭氏・青山学院女子短期大学グロリアス・クワイア（日本基督教団霊南坂教会）
- 2月1日・子育て講演会（しののめこども園）
講演者：高野優氏（育児漫画家）
テーマ：「反抗期 思春期のトリセツ」
- 2月11日・ソシアスフォーラム2019（山手センター）

※ 会長通信 2001 新春特集

令和での初めての新年を迎えるに当たり会員各位、ご家族の皆様の益々の御健勝と御発展を祈念致します。

本年は世田谷クラブにとって EMC を体現するべき行動の年と考えております。私の信条である『繋げる』を実践するという事です。世田谷クラブが継続して活動している、歌声広場の活動もその成り立ちは、小川ワイズと峰ワイズが十数年前に世田谷区社会福祉協議会と連携して歌声活動が誕生したと伺っています。その後の社会的、経済的環境が激変し、複雑化している中で、1 個人、1 団体が出来た事には限りがあると考えるのが自然なのではないでしょうか？これは以例会の前卓話者としてお招きした世田谷社協の阿藤さんのお話でも、協同、協働、共助の必要性を強調されていました事は、皆様のご記憶に新しい事と思います。この私の信条に基づき昨年 12 月に私は 2 つのイニシアティブの第 1 歩を踏み出すことにしました。1 つは以前お話しさせて頂きましたが、石巻広域ワイズクラブのクリスマス例会に出席する事です。過日の東新部大会での献金をお届けする事と、東日本大地震の津波で被災され、3 人のお子さんをなくされた遠藤さんご夫妻にお会いして、ご夫妻が活動されている『ワタホイの会』、『テイラーアンダーソン記念財団』のお話を伺う事でした。遠藤さん御夫妻は、石巻市の中心部で被災されたのですが、周辺部は直ちに各種団体の支援の手が届いたのに反し、中心部は被災直後の 2 週間程は全く支援を得られなかったそうです。そこで遠藤さんご夫妻始め市の中心部で被災された方は、津波で破壊され、廃墟と化した保育園の建物の 2 階を、仮の避難所として過ごされたそうです。渡波の保育士さんを中心とした会から『ワタホイの会』と名付けられたそうです。テイラーアンダーソンさんは、石巻の渡波小学校で英語教師をされていて、学校から自転車で帰宅する途中に津波に巻き込まれなくなりました。テイラーさんは、東日本大地震で被災された唯一のアメリカ人です。テイラーさんの御父上がアメリカワシントン州の YMCA の理事を務められていたとの事で、約 5,000 万円の基金を集められ、石巻に献金されました。それを基に渡波に小遊園地と集会所を作られました。又その基金で石巻の小学校に児童文庫を作る活動を今も続けられています。遠藤さんは家具職人さんなので、児童文庫の書棚を作って、この活動の支援をされています。遠藤さん御夫婦、特に奥様は、震災直後 2 年間程は、震災の被害、と、お子様をなくされた衝撃から、被災そのものを語る事が出来なかったといわれています。然し、2 年後に『ワタホイの会』に参

加するようになり、看護司さんや『ワタホイの会』を支援される方々に慰められ、集会所で開かれていた『お茶っ子会』に来られるお年寄り達と茶飲み話をするようになり、更にお年寄りのお茶飲み話の手慰みとして、お年寄りのお宅の箆笥にある和服を持ち寄って、それでクリスマスカードを作り、アメリカの YMCA や、その他の『ワタホイの会』を支援する団体を通じ、このカードを販売する活動を始められたそうです。(カードは一枚 350 円、3 枚セット 1,000 円で販売されています。) 遠藤さんの奥様は、今もって亡くなられたお子様の悲しいご記憶を拭い去る事は出来ないでおられると、ご主人が仰っていましたが、『ワタホイの会』や『お茶っ子会』の皆様のご厚意で生かされていると感じられているそうです。私は、この石巻の活動即ち、『繋げる』事の御体験を参考に、我々の歌声広場の活動に広げられないかと考えた訳です。又、3 月に予定している東京西クラブとの例会に遠藤さんを卓話者としてお招きし、お話し頂けたら、文字通り、繋げるを実践できるのではと考えた次第です。

もう 1 つのイニシアティブは、多摩南クラブが取り組んでおられる『フードロス』への取り組みです。私は以前 7-11 (セブンイレブン) で働いていたので、その当時から、『フードロス』は大きな問題でしたが、今は大きな社会問題となっています。多摩南クラブでは、ぼんぼこ農園の活動と相まって、地域の NPO 団体と連携し、『フードロス』の活用に取り組んでいると伺いました。7-11 ではお弁当やパンなどのデイリー食品だけでなくラーメンやお菓子などの加工食品も鮮度重視の観点から大変厳重な消費期限の管理を行っており、巨額の『フードロス』を出しています。そこで、私は多摩南クラブと提携している NPO, 7-11、デイリー食品の製造メーカー、加工食品の間屋、メーカーさん達を繋いで、このフードロスの削減の一助とする事は出来ないかと考えました。12 月末に以前からのコネクションを通じて、7-11 の役員とアポを取り、協力を依頼する事にしています。まだ何の確答は得ていませんが、数週間前の日経新聞の広告記事を読んで、7-11 が『フードロス』を現在の 75%まで削減するという記事を見まして、どの様に実践するか今は、分かりませんが必ずポジティブな回答を得られるものと思っています。今は、多摩南クラブとの繋がりですが、7-11 が全国チェーンであり、ワイズメンズクラブが全国にわたる組織なので、大きく拡大する要素はあるのではとも思っています。EMC のほんの始めの一步ですが、現存するニーズに適合する事によって必ず EMC に繋がると思っています。まだ始めの 1 歩ですので、新年の初夢でもいいのではないかととも思っています。1 歩目を踏み出さないで 2 歩目はないのは確実です。

(朝倉 記)